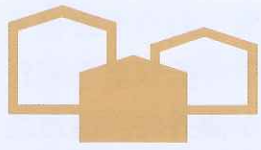


重監房資料館だより



く り う

No.15

2019.7

KURIU

おかげさまで開館5周年を迎えました。



平成26年4月30日に開館した重監房資料館は、平成31年4月30日をもちまして無事開館5周年を迎えることができました。この5年間にご来館いただいたお客様は延べ34,568人に達し、おかげさまで毎年当館を研修や校外学習にご利用いただく団体や学校も増加しております。

また、重監房跡の保全や展望台の整備、監守役と言われた門衛跡の発掘調査や屋外展示なども行い、調査研究の成果として監禁室の鍵や使用禁止後の重監房の写真などいくつかの新発見もありました。栗生楽泉園社会交流会館との連携による双方の見学も軌道に乗って来ました。

「令和」という新たな時代を迎え、ハンセン病をめぐる差別と偏見の解消を目指す拠点施設として当事者の思いに寄り添いつつ、より一層の普及啓発と展示内容の充実を目指してスタッフ一同更に精進してまいりますので、今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

令和元年度企画展

「旧日本統治下海外ハンセン病療養所の監禁室展」開催のお知らせ

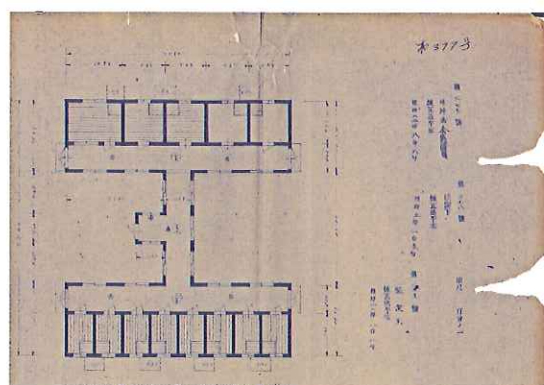
令和元年7月17日(水)から8月18日(日)までの約4週間にわたって、企画展「旧日本統治下海外ハンセン病療養所の監禁室展」を開催します。日本国内のハンセン病療養所の監禁室を紹介した一昨年度と昨年度の企画展が好評だったことを受けて、今回は戦前に日本が海外に設置した療養所の監禁室をテーマにしました。

おもに取り上げるのは、現在の韓国に設置された朝鮮総督府小鹿島更生園と台湾の台湾総督府樂生院です。海外ハンセン病療養所の概要を記した説明パネルとともに、監禁室の外観写真、平面図、懲戒処分を記した書類等を展示し、戦前日本のハンセン病政策の実態をより深く知っていただく機会としました。

ハンセン病に対する偏見・差別の歴史を今一度振り返るとともに、当時の患者が被った辛い経験についても考える機会にしたいと思い、開催する運びとなった次第です。当館では日頃から資料収集活動を行っておりますが、定期的に企画展を開催して皆様



【光州刑務所小鹿島支所】



【小鹿島更生園監禁室平面図】

にご覧になっていただき、ハンセン病の正しい知識の普及啓発を続けてまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、今回の企画展開催にあたっては、日本国内のハンセン病療養所入所者自治会、韓国および台湾のハンセン病療養所の入所者、園長(所長)以下療養所職員および学芸員の皆様、ならびに地域の皆様から惜しみないご協力を賜りました。ここに紙面を借りてご指導ご教示を賜りました皆様にあらためて深謝申し上げます。

夏休みシーズンにシャトルタクシーを運行します。

当館では令和元年7月20日から8月25日の間、毎週金・土・日曜日と祝日に草津温泉バスターミナルから栗生楽泉園社会交流会館経由で重監房資料館までの無料シャトル便(ジャンボタクシー)を運行します。

乗車場所は、草津温泉バスターミナル1階のタクシー乗り場です。「重監房資料館シャトルタクシー」のステッカーが目印です。

夏休みを利用して当館や栗生楽泉園社会交流会館を見学される皆様はお気軽にご利用ください。

詳しくは右記運行時刻表をご参照ください。

重監房資料館見学者用無料シャトル便
 経路:バスターミナル～楽泉園社会交流会館～重監房資料館
 運行期間:令和元年7月20日から8月25日の間
 運行曜日:期間中の毎週、金・土・日曜日、及び祝日
 使用車両:ジャンボタクシー9人乗り
 乗車場所:バスターミナル1階タクシー乗り場
 ※1.以下の各便の運行時間帯中に複数回往復します。

時刻表	運行時間帯
第1便	9:35 ～ 10:05
第2便	11:15 ～ 11:45
第3便	13:10 ～ 14:10
第4便	14:30 ～ 15:00
第5便	16:00 ～ 16:30

※2.第5便は、バスターミナルへの戻りのみとなります。

【シャトル便運行時刻表】

ハンセン病ゆかりの地をめぐるウォーキング・ツアーを行います。

夏休みシーズンに合わせ、7月27日、8月3日、8月10日、8月17日の各週土曜日にボランティアガイドによるウォーキング・ツアー「初めてのハンセン病史—もうひとつの草津—」を実施する予定で、現在参加者を募集しています。各回ごとの催行人員は20名で定員になり次第締め切ります。古来より草津温泉は「万病に効能あり。」とうたわれ、多くの病者に慕われた国内有数の湯



【救済の盟友服部ケサや三上千代も眠るリー女史墓所】

治場でした。町内には、明治20年から昭和17年までハンセン病を患った人々が暮らした「湯之澤」や大正期に病者の救済にあたったコンウォール・リー女史にゆかりのある史跡が点在しています。

ウォーキング・ツアーではボランティアガイドの案内でこうした地を約6時間かけて徒歩で巡り、隠れた史跡を探訪するほか、重監房跡や旧青年会館など楽泉園内の歴史

的建造物、資料館などを見学します。

参加費は無料、参加条件は長時間の徒歩移動が可能な体力のある人で、野外活動に適した服装であること、弁当、飲物、雨具はご持参いただきます。

特にこの時期の水分補給は重要ですので各自熱中症対策にご注意ください。小雨決行です。お申し込みは、当館までお電話(☎0279・88・1550)ください。



【湯之澤の移転地、楽泉園自由地区の象徴「旧青年会館」】

10月13日(日)に群馬会館で開館5周年記念式典を開催します。



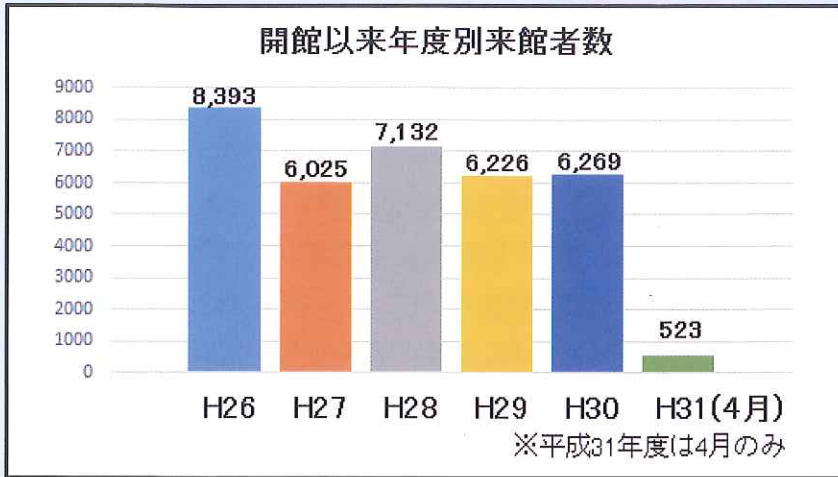
【開館5周年記念式典会場となる群馬会館】

今年は重監房資料館にとって開館5周年の節目の年にあたります。そこで令和元年10月13日(日)に前橋市の県庁前にある群馬会館におきまして、「重監房資料館開館5周年記念式典」を開催します。

会場のホールでは、今年度企画展のテーマでもある海外ハンセン病療養所からゲストをお招きして国際シンポジウムを行う予定です。また、重監房に投獄された元患者のご遺族をはじめ当事者の皆様にご出演いただいたドキュメンタリー映像も上映いたします。一般参加は13時受付開始で入場は無料、予約不要です。多くの方のご参加をお待ちしております。

【開館以来 来館者統計】

平成31年4月30日現在



開館以来延べ来館者数
34,568人

開館延べ日数
1,157日
(1日平均 29.9人)

皆様のおかげで無事
5周年を迎えることが
できました。

お客様の声 (来館者アンケートより抜粋)

- ◎重監房に入れると思わなかった。異様な雰囲気伝わって来てインパクトが強烈だった。(千葉県、35歳・女性、医師)
- ◎子供の頃楽泉園に来ることはあまり良くないと言われた訳が理解できた。(渋川市、50歳・男性、公務員)
- ◎資料が見やすく整理され、映像、実物、証言と全体像がつかめる配置だった。(京都府、55歳・女性、教員)
- ◎正直「こわいなあ」と思っていたが「こわい」ではなく「知っておくべきこと」だと思った。(茨城県、13歳・女性、中学生)
- ◎他館も見に行きたい。(東京都、42歳・男性、会社員)
- ◎重監房の再現建物に入ったが、暗く重く、証言した方々の言う様々な地獄が心と体に重くのしかかった。(山梨県、26歳・男性、僧侶)

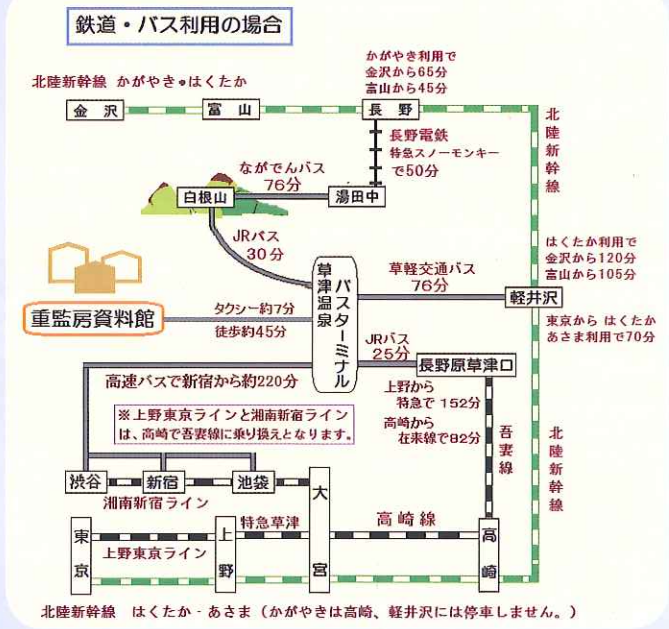
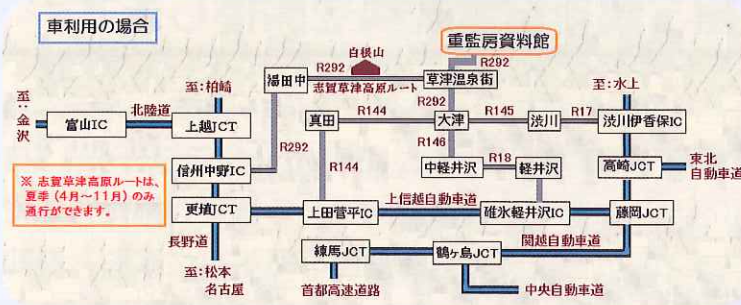
【この他にも、多くの皆様から感想をお寄せ頂きました。有難うございました。】

ご利用案内・アクセス

入館料…無料

※個人見学は、4月26日から11月14日の期間となりますのでご注意ください。

区 分	フルオープン期間 (4月26日～11月14日)	団体専用期間 (11月15日～4月25日)
受付対象	個人及び団体	団体・学校・予約のみ
開館時間	午前9時30分～午後4時00分 (最終入館 午後3時30分)	午前10時00分～午後3時30分 (最終入館 午後3時00分)
休 館 日	毎週月曜日(祝日の場合翌日)・国民の祝日の翌日・年末年始・館内整理日	



※最新の道路通行規制や列車等の運行状況は関係機関にご確認ください。

重監房資料館だより「くりう」第15号【季刊】

発行日：令和元年(2019年)7月1日/企画・編集・発行：重監房資料館

〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津白根464-1533 TEL：0279-88-1550 URL：http://sjpm.hansen-dis.jp/

重監房資料館はハンセン病をめぐる差別と偏見の解消を目指して国(厚生労働省)が設置した国立の資料館で入館は無料です。

